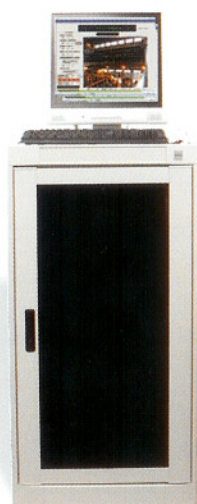




Fire, Smoke Detection System 自動火煙監視 システム

型式 FSD 4

甚大な火災被害を防ぐには 早期発見と通報



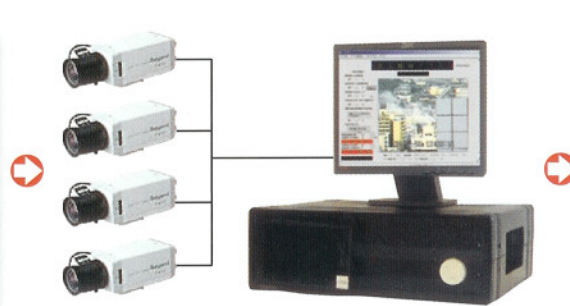
FSDシステム

FSDとは

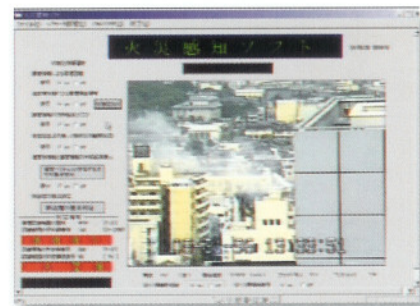
屋内あるいは屋外の別なく、主として防犯目的に広く監視カメラが設置され、かつ、その設置ニーズは今後ますます多様化し、増大する傾向にあります。その活用は、映像モニタに写るライブ映像の目視監視と録画による事件、

事故後の事案分析に限定されており、火災の発見や異常火煙等の早期に発見する場合についても大きく限定されるどころです。しかし、監視カメラ映像へのリアルタイムの画像処理技術により新たな活用が可能となります。

監視カメラと画像処理技術の活用で 火災の早期発見と通報



FSD4



現在広く普及している監視カメラの映像をFSDの画像処理能力と高度な状況分析能力で異常な火煙を、より早く検知警報することで火災災害を未然に防ぐものです。状況分析能力とは、監視カメラに写る多種多様な風景や刻々変化する人物や車両などの動き、夜間映像の大きな変化など、監視環境の状況をFSDが学習することでFSDは異常火煙を識別するものです。

主仕様

項目	仕様
装置外形	19インチ専用筐体
映像信号入力仕様	NTSC準拠カラーコンポーネント・コンポジット・アナログ信号
設定及び表示	マウス、キーボード、XVGAモニタ表示
装置基本動作	24時間連続監視
監視時間設定	連続監視モードと、監視開始時刻-終了時刻の設定も可能
監視中/待機中設定	監視/待機中に設定操作が可能
動画像処理方式	次世代型画像処理アルゴリズムを採用しています。 監視空間の経常環境を常に学習し、確実に異常現象だけを検知する方式です。 無調整型の自動環境学習機能を搭載しています。
感知時間	Typ.1秒(4秒以内)
監視周期	4台の監視カメラ同時処理 1秒(監視カメラ1台:250ms)
火災判定方式	事前に設定する警報条件で「注意」[警報]の2段階通報。 複合比較も可能。
警報出力部	・警報電子音、モニタ表示 ・接点出力端子 ・LAN ・登録電話番号に自動発呼とメッセージ送出 (オプション)
自己診断	保守用自己診断機能
電源	AC100V ±10% 50/60Hz
消費電力	FSD4:350W (監視カメラ4台入力)
動作環境	屋内設置型 周囲温度 0 ~ 40℃ 周囲湿度 85% 但し結露なきこと。

注記) 本カタログに記載の技術内容は、高所監視カメラ画像解析システム研究委員会の報告書に記載したものを含みます。
本カタログに記載された仕様及びデザインは、製品改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

製造販売

CED 株式会社シーエーテラシステム

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-17-28
TEL 03-3263-7355 URL <http://www.ced.co.jp>

代理店